

も たに

母谷たつりの後援会便り

平成16年(2004年)10月 Vol.17
 発行 母谷たつりを育てる会
 ホームページ <http://www.motani.jp>
 編集 岡田 孝



市政報告

謹 啓

素晴らしい秋空が一杯に広がり、清々しい気持ちになっています。いつの間にやら朝晩の冷え込みを覚え、厳しかった今年の夏がまるで嘘のように感じられます。

さて、広島市議会の第4回定例会は9月14日召集告示がなされ、9月21日から14日間の日程で開会されました。当初予定された提出案件は、予算案3件(補正額は9億6,744万円)、条例案5件、その他の議案7件の併せて15件の議案と3件の報告、5件の決算認定案が上程されました。

ところが定例会最終日になって広島高速道路公社に対する出資・貸付金の18億9,250万円の予算案とその他の議案それぞれ1件が追加提案されることになりましたが、予定時間を4時間も遅れての本会議開会となりました。順調に日程を消化し、新たに追加提案された広島高速道路公社に対する出資・貸付金の議案質疑で月村俊雄議員が質問に立って議案の提出に至る経緯や市長の政治姿勢について質したところ、秋葉市長は自ら答弁しようと思わず、これに反発した議員から議事進行についての緊急動議が発せられました。これに対して他の議員も同調し、動議が成立したため本会議は紛糾し、一旦中断して休憩に入りました。9月29日の議会運営委員会における「広島高速道路公社に対する約19億円の出資・貸付金の補正予算は追加提案しないのか」という委員の質問に対し、秋葉市長の「**大変残念な事実が出ており、もう少し時間が必要である。**」との発言を巡り、「一体、残念な事実とは何か」との疑問とそれに対する答えは「この議案を市長が今定例会に提案するかしないか議員と職員の間で賭けが行われて



特定環境保全公共下水道の視察で沖縄県・石垣市を訪問しました

いた。」ということが最終日朝の本会議開会前に行われた議会運営委員会で明らかになっており、当局によるその事実関係の情報収集と調査の結果は「**追加提案を妨げるほどの重大視すべき事実ではないことが判明しました。**」と言うものでありました。

こうしたなかで開会は遅れ、7時間余り空転した議会は休憩・中断を挟んで午後11時、本会議が再開され、冒頭、秋葉市長は一連の発言・対応について陳謝して議会は正常化しました。その後、委員会付託や議決に至るまでの手続き等、その他の日程を全て終えたのは日も変わった10月5日の午前3時20分過ぎでありました。結果的に予定された14日間の定例会日程は、1日追加され15日間となりましたが、このようなことは平成4年の6月定例会以来12年ぶりのことでありました。

こうして今春の予算特別委員会から県と不均衡を生じ、迷走し続けてきた広島高速道路公社に対する出資・貸付金問題は県・市同額を年度当初予算に計上するという原則にやっとケリがついたのであります。

しかしながら高速道路整備に関する問題・課題はまだ山積しており、一朝

一夕に解決するものではありません。

また、今定例会に提案された重要案件のひとつに広島駅南口開発株式会社に対する貸付金4億5千万円をつなぎ資金として融資するという議案がありました。同社は広島の玄関口を再開発する目的で昭和63年11月に設立された第3セクターであります。既に設立から17年も経過していながらその事業計画の達成は約半分に留まり、経営的にも大幅な行き詰まりを露呈させています。結果的にこの議案は承認されましたが、今年度末までに主力銀行を含めた再建計画が明示されなければかなり先行き不透明な状況になると言えます。

現在、難問山積の広島市ではありますが自らの発言、信念、決断に大なる誇りと自信をもって今後とも取り組んで参りたいと考えておりますので一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方におかれましては、時節柄ご自愛頂き、益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。 謹 白

広島市議会議員 母谷龍典

ご意見
ご要望は

いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!

私が直接
ご返事します

母谷たつりのホットライン あなたの声を聞かせて下さい。ダイレクトメール mokkun@cc22.ne.jp へ

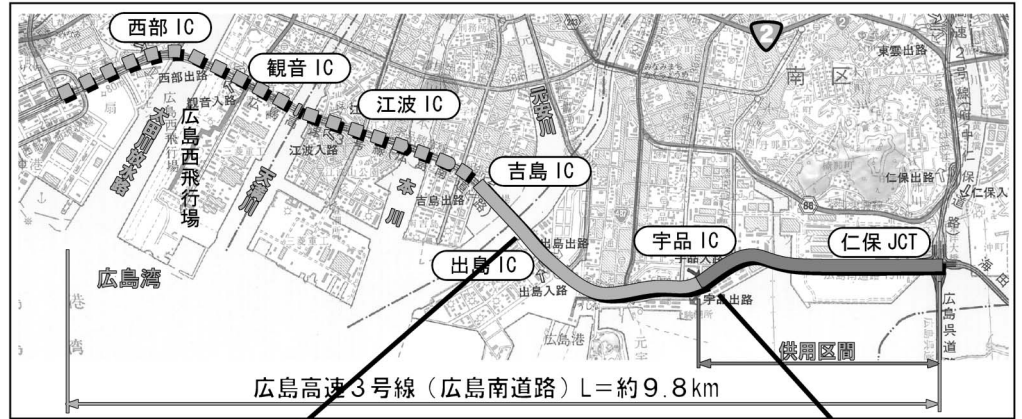
広島高速3号線Ⅱ期 (広島南道路)

1) 補正の必要性

高速道路整備は県・市同額を折半し、その事業費を負担することになっています。しかしながら秋葉市長は、本年度当初予算にその事業費のうち、18億9,250万円を計上しなかったため県の出資・貸付金と差額が生じ、**国を巻き込んで大混乱**となりました。その後も紆余曲折があり迷走しましたが、今定例会最終日にやっと提案され、翌日未明の可決となりました。

高速道路全体は平成25年度の完成予定となっていますが、高速3号線Ⅱ期区間の(宇品IC～出島IC)完成は平成21年度となっています。これは平成14年度に事業着手し、翌年度に工事着手したものでありますが、残りの事業期間を考慮すると工事促進を図る必要があるため、今回、4億3,725万円(事業費ベースでは17億4,900万円)を追加補正し、完成年度に向けて事業の進捗を図ろうとするものです。

今後は、吉島、江波地区での用地買収交渉や懸案となっている太田川渡河部の工法についての解決が急がれています。



| 凡 例 | |
|----------|-----|
| 区分 | 工 事 |
| 過年度 | |
| 平成16年度当初 | |
| 今回補正要望 | |
| 平成17年度以降 | |

2) 予算内容 (出資金・転貸債、カッコは事業費ベース) 工種

(単位：千円)

| 工種・項目 | 当 初 予 算 | | 補 正 予 算 | | 合 計 |
|---------|---------------------|---|------------------------|--|------------------------|
| | 事業費 | 内 容 (C=百万円) | 事業費 | 内 容 (C=百万円) | |
| 測量試験費 | 33,000 (132,000) | 橋梁詳細設計 (出島IC ～吉島IC間) 継続C=132 | 12,000 (48,000) | 家屋事前調査 (宇品地区、新規C=30) 道路附属施設詳細設計 (宇品地区、新規C=18) | 45,000 (180,000) |
| 補 償 費 | — | — | 12,500 (50,000) | 工事影響補償 (新規C=50) | 12,500 (50,000) |
| 工 事 費 | — | — | 412,750 (1,651,000) | 橋梁下部工 (16基) (宇品地区16基、新規C=800) 橋梁上部工 (2連) (宇品地区2連、新規C=851) | 412,750 (1,651,000) |
| 事 務 費 等 | 29,750 (119,000) | その他費 (C=13) 一般管理費 (C=68) 調査費 (C=8) 建設利息 (C=30) | — | — | 29,750 (119,000) |
| 合 計 | 62,750 (251,000) | | 437,250 (1,749,000) | | 500,000 (2,000,000) |

3) 事業工程

| 工種 | 年度 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 |
|---------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 工 事 (高架工事) | | | | | | | |

母谷たつりのり連絡先 広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号 ☎929-9002 市議会 ☎504-2443
E-mail mokkun@cc22.ne.jp FAX 929-9002 FAX 244-1419

広島市議会ホームページ <http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>
母谷たつりのりホームページ <http://www.motani.jp>